
Technical Information

永久固定用接着剤・粘着剤

ウッドケムレジン

HP-R-6110

用途：永久固定用

1. 特徴

HP-R-6110 は高い粘着強度と高温域の保持力性能の両立を目的に開発された新しいタイプの高性能永久固定用ホットメルト粘着剤です。従来のホットメルト粘着剤の欠点であった、高温環境下の保持力を大幅に改善し、溶剤系粘着剤並みの高い性能を持っています。

2. 一般性状

| | |
|--------------|---|
| 名称 | HP-R-6110 |
| 外観、荷姿 | 2.5 kg ブロック、淡黄色 20 kg (2.5 kg×8) ケース |
| 主成分 | スチレン系ブロック共重合体 |
| 熔融粘度 180°C ※ | 75,000 mPa・s |
| 軟化点 ※ | 148 °C |
| 特徴 | 高耐熱タイプ 強粘着強度 |

※ 日本接着剤工業会「ホットメルト接着剤試験方法 JAI-7」準拠

3. 粘着性能

HP-R-6110 は各種粘着物性のバランスに優れ、長時間のオープン後でも良好な接合が可能です。

| | | |
|-----------------------|--------------------------|--------------------------|
| 塗布厚 | 30 μm | 120 μm |
| 180° はく離強度 | 19 N/25mm | 43 N/25mm |
| せん断はく離強度 | 253 N/250mm ² | 242 N/250mm ² |
| タック強度 | 4 N | 11 N |
| 保持力 (1kg/40°C/一週間) | ズレ 0.0 mm | ズレ 0.0 mm |

【試験方法】

試験基材：PET フィルム / SUS BA 板

180° はく離強度

180° 折り返した粘着テープを 300 mm/min の速度で引き剥がし、距離 100 mm の試験力の平均値を 180° はく離強度とした。

せん断はく離強度

粘着テープを 300 mm/min の速度で接着面に対して平行に引きはがし、試験力の最大値をせん断はく離強度とした。

タック強度

ループタック法で測定。300 mm/min の速度で粘着テープを引きはがし、試験力の最大値をタック強度とした。

保持力

粘着テープ 25 mm × 25 mm に対して 1 kg の荷重をかけ、各温度条件における一週間後のズレ距離、もしくは落下するまでの時間を保持力とした。

4. 耐熱保持性能

HP-R-6110 は高温域における保持力に優れています。

| | | HP-R-6110 | | 【比較】 汎用ゴム系 ホットメルト HP-R-4201 |
|-----|--------------|------------|-------------|--------------------------------------|
| 塗布厚 | | 30 μ m | 120 μ m | 30 μ m |
| 保持力 | 1kg/40°C/一週間 | ズレ 0.0 mm | ズレ 0.0 mm | 24 時間後落下 |
| | 1kg/60°C/一週間 | ズレ 0.0 mm | ズレ 1.0 mm | 1 時間後落下 |
| | 1kg/80°C | 60 時間後落下 | 8 時間後落下 | 1 分後落下 |

【試験方法】

試験基材：PET フィルム / SUS BA 板

保持力

粘着テープ 25 mm×25 mm に対して 1 kg の荷重をかけ、各温度条件における一週間後のズレ距離、もしくは落下するまでの時間を保持力とした。

5. 用途提案（両面粘着テープ代替）

HP-R-6110をはじめとするホットメルト粘着剤は常温ではタック（べたつき）のあるゴム状の固形物です。また、加熱することで溶融して液状に変化し、専用の塗工気を使用することで様々なものに粘着加工を施すことができます。そのため、両面粘着テープを使用している箇所にホットメルト粘着剤を塗工することで代替が可能であり、下記のメリットが得られます。

- ・ 両面粘着テープをホットメルト粘着剤に替えることのメリット

① コストの削減

貼り付け面積当たりの単価が両面粘着テープよりも安価なため、ランニングコストを抑えることができます。また、必要なところに必要なだけ塗布するので無駄なく経済的です。

② 廃棄物の削減

両面粘着テープは使用後に廃棄される剥離紙が必要ですが、ホットメルト粘着剤では不要なため廃棄物の量を抑えることができます。

③ 粘着加工のオートメーション化が可能

自動塗工機を使用することで、粘着加工のオートメーション化が可能です。（手動塗布も可能）

④ 二酸化炭素排出量の低減

製造工程中の乾燥が不要なため、トータルでの二酸化炭素排出量を低減することができます。

- ・ 想定用途

打ち抜き金属銘板の固定

プラスチック表示板の固定

家電機器部品の固定

サインディスプレイの固定

HP-R-6110 と汎用不織布基材両面粘着テープの性能比較

| | HP-R-6110 | 【比較】 N 社汎用不織布 両面粘着テープ |
|--------------------|------------|-----------------------------|
| 粘着層厚 | 30 μ m | 170 μ m |
| 180° はく離強度 | 18 N/20mm | 16 N/20mm |
| 保持力 (1kg/80°C/二時間) | ズレ 1.0 mm | ズレ 2.0 mm |

【試験方法】

試験基材：PET フィルム / SUS BA 板

180° はく離強度

180° 折り返した粘着テープを 300 mm/min の速度で引き剥がし、距離 100 mm の試験力の平均値を 180° はく離強度とした。

保持力

粘着テープ 20 mm × 20 mm に対して 1 kg の荷重をかけ、各温度条件における一週間後のズレ距離、もしくは落下するまでの時間を保持力とした。

- この報告書内の結果は実験値であり、性能を保証するものではありません。ご使用の際は、あらかじめ貴社にてご評価下さいますようお願い申し上げます。

6. 安全にお取り扱いいただくために

- 危険・安全に関する事項（ご使用前に詳細を SDS にてご確認ください。）

| | |
|---------|---|
| 危険有害性情報 | <ul style="list-style-type: none"> 加熱溶融した製品に皮膚が接触するとやけどを起す。 |
| 注意書き | <p><取扱い方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒューム（煙）、蒸気の吸入を避けること。 ・取扱い後は手や顔をよく洗うこと。 ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 <p><応急処置></p> <ul style="list-style-type: none"> ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ・眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。 ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ・気分が悪いときは医師に連絡すること。 <p><保管方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気の良い場所で、容器を密閉しておくこと。 ・施錠して保管すること。 <p><廃棄方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容物／容器を廃棄する時は、都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し、適正に廃棄すること。 |

以上

※ 製品に関するお問い合わせ先

東京営業所 Tel. 03-6285-2817 Fax. 03-6285-2818

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-6-1 菱和ビル 8F

大阪営業所 Tel. 06-6441-2414 Fax. 06-6441-4511

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀 1-9-1 肥後橋センタービル 14F

HOME PAGE : <https://www.mgcwoodchem.com/>

E-mail : wcm_AGalpha@mgcwoodchem.com（抗菌剤お問い合わせ用メールアドレス）